

2007 年度 特定非営利活動法人 かものはしプロジェクト年次報告書



笑顔がつながる世界をつくろう
カンボジアにおける児童買春・人身売買の解決に取り組みます。

かものはしプロジェクトの使命

すべての子どもたちが未来への希望をもって
生きられる世界を実現するために
私たちはカンボジアの
児童買春・人身売買問題を解決します

私たちがこの問題を最初に知ったのは、代表の村田が学生時に東南アジアを訪問したときです。買春の被害にあった子どもたちを保護する施設で、6歳と12歳の姉妹に出会いました。彼らは家が貧しかったために、売春宿に売り飛ばされ、電気ショックを与えられながら無理やり働かされていたところを保護されたのです。

売春宿に売られた後、HIVで死亡したり、自殺したりする子も少なくないことを知ったときに、私たちはすぐになにか行動しなければ、と強く感じ、行動することを心に決めました。

私たちは、カンボジアの子どもや女性が自分の身体を売らずにすむよう、自立のための支援をします。私たちは貧しい女性たちにお金を寄付するのではなく、自分の力で生きるための技術と仕事を提供します。

私たちはこの問題を解決し、一人でも多くの子どもたちが笑顔で生きることができるよう努力することを誓います。

共同代表 村田早耶香 青木健太 本木恵介

07 年度の活動ハイライト

ミッション達成に向けて試行錯誤 活動収入は安定的

カンボジアでの活動

Activities in Cambodia

児童買春・人身売買の被害から予防し、子どもたちと女性の笑顔を守る。このミッションを達成するべくコミュニティファクトリー事業を推進しています。子ども・女性が被害にあう根本原因は「貧困」です。そこで私たちは彼らが収入を得られるよう、職業訓練と雇用を提供しています。

06-08 年度は、このコミュニティファクトリー事業をモデルとして確立するべく、試行錯誤をしています。09 年度以降はこの事業を大きく展開し、一人でも多くの子どもの笑顔を守ります。

06 年度より、シェムリアップ州の農村で現地 NGO と提携し、07 年度は女性約 50 名に職業訓練を行いました。この過程で、農村コミュニティとの付き合い方、ファクトリーの運営方法等、多くを学びました。12 月には運営面で現地 NGO と関係が悪化、プロジェクトは中断しました。現在、再開に向けて交渉をしています。このため、同時に、独自運営のファクトリー立上げの準備を 9 月から始めており、08 年 5 月に訓練を 20 人規模でスタートしました。

また、昨年度に引き続き、07 年 5 月まで孤児院で生活する子どもたち 120 名を対象に PC スクールを行いました。



村の女性たちが働くファクトリー



カンボジアの村の女性たちが真剣に働いています



国際青年会議所より TOYP（傑出した若者たち）賞を代表の村田が頂きました

日本での活動

Activities in Japan

コミュニティファクトリー事業の推進を支える、サポーター事業・IT 事業は順調に成長しています。新たに 300 人の方が会員になり応援してくださることになりました。

IT 事業は売上 5600 万円を達成し、プロジェクトの縁の下での力持ちとなっています。

カンボジアスタディツアーには 80 名弱が参加しました。農村訪問、NGO 訪問などを通じてカンボジア人と交流し、またカンボジアの現状をはじめ、多くのことを学んでいます。



日本事務所スタッフの集合写真

目次

Index

かものはし事業概要	3
コミュニティファクトリー事業	5
IT 事業、サポーター事業	10
財務報告	16
代表挨拶・アドバイザーコメント	18



スタディツアー 日本の学生と、ファクトリーで働いているワーカーが交流しました

児童買春・人身売買問題解決への3つの事業

カンボジアの児童買春・人身売買の予防のため、生きるために技術と仕事を提供するコミュニティーファクトリー事業。その活動資金を調達するための日本でのIT事業と、サポーター事業。この三つの事業により、自立性と成長性を持ちミッションの達成を可能とします。

カンボジアの児童買春・人身売買の予防のため、
生きるために技術と仕事を提供する

コミュニティーファクトリー事業

確実に救われる仕組みを作る

農村では貧困ゆえに、売られていく子どもと女性が後を絶ちません。この状況を解決するために、農村で、職業訓練と雇用を提供し、村人たちが安定した収入を得られる仕組みを作ります。現金収入の道を開くことで、貧しさゆえに子どもと女性が売られてしまう問題を未然に防ぎます。

カンボジア全土に展開

コミュニティーファクトリーで製作したハンディクラフトをカンボジア国内や、日本に向けて販売します。その収入で、運営を自立的に行うことで、私たちは次々に新しいファクトリーをカンボジア全土に展開していきます。



いぐさを織るファクトリーの女性

参加の輪を広げ、
活動に必要な資金を獲得する

サポーター事業

子どもたちの未来を守る
仲間を募集しています

月々 1000 円でカンボジアの子どもたちを応援していただけるかものはしサポーターを募集しています。

カンボジアと日本を結び
笑顔の連鎖を作り出す

コミュニティーファクトリー事業やカンボジアの情報を、Web やイベントなどを通してお伝えします。

ただ支援するのではなく、カンボジアからこそ学ぶことがたくさんある。お互いが成長できる、そんな関係でありたいと私たちは考えています。

安定して収益を上げ、
全事業を支える

IT事業

安定した資金供給源

IT事業では企業のWebサイトの一部を制作しており、かものはしプロジェクトの資金供給源となっています。WEBコーディング業界ではトップクラスの実力、と自負しております。また、PCスクールをカンボジアにて行っています。



サイト制作に取り組む
スタッフ



クリスマスパーティーで
イグサ製品の販売

かものはしプロジェクトの歩みと展望

The road to Kamonohashi Project

問題発見・ビジネスモデル構築

2001

共同代表・村田がスタディツアーで東南アジアを訪
問し、問題に直面

2002

村田、本木、青木が出会い、かものはしプロジェク
トを開始。リサーチを行う
IT 職業訓練を行う事業を設計

法人化・現地進出・ビジネスモデルの転換

2003

東京に事務所設立。2 度目の現地調査を行う

2004

日本で NPO 法人登記。カンボジアへ 2 名の駐在員
を派遣し、PC スクールを開始する

2005

第二回 PC 教室を開始。村田 Woman of the Year
を受賞

2005/2006

農村での自立支援事業の必要性を痛感し、IT を用い
た職業訓練から、農村でのハンディクラフトの職業
訓練・雇用を行うコミュニティーファクトリーの事
業にビジネスモデルを転換

コミュニティーファクトリー事業スタート

2007

2 つのファクトリーの運営を現地 NGO と提携して
行い、ファクトリーを農村で展開する経験を得る

2008

独自で運営するファクトリーとなる 3 つめのファク
トリーの立上げを行い、運営を開始する

ファクトリーをカンボジア全土に展開

2009 - 2011

カンボジア全土にコミュニティーファクトリー事業
を他団体と協力しながら展開へ

カンボジアの基礎知識

公用語	クメール語
首都	プノンペン
面積	約 18 万 km ² (日本の半分)
人口	1424 万人
GDP	1 人当たり 1,800 ドル

主要な産業

農業、縫製産業、観光産業

歴史

1967-1975

カンボジア内戦

1970

クーデター

1975-1979

民主カンボジア

波尔ボトによる 200 万人を超えるともいわれる虐殺

-1990

内戦

1990- 現在

カンボジア王国

(1992-93 UNTAC 駐留)

人口構成

人口の 50%近くが 20 歳未満

内戦により、若年層が極端に多い人口構成となっている

出典

CIA THE WORLD FACTBOOK Web サイト

Wikipedia



「カンボジアの国旗」

生きるための技術と仕事を提供し、 子どもたちの笑顔を守る

A Skill and Job for smile and better life
this is what we can do for the children



ファクトリーの概要 Concept of Community Factory Project

- 貧しい村の人たちに、ハンディクラフト（カンボジアの天然素材を使ったござやバッグ）製作の訓練を行います。そこで製作された製品をカンボジアと日本で販売しています。村の人たちは安定した現金収入を得て、安心して暮らし、子どもたちは学校に通うことができます。
- 製品を販売した利益で、ファクトリーを運営します。そうすることで、村の人たちは日本からの寄付金に依存せず、自立することができます。

実績と展望 What we have done, What we are going to do

- 07年度は50人に対して職業訓練と雇用を提供をしました。識字教室や人身売買の危険性を考えるワークショップも行いました。
- 運営は現地のNGOである「WP」と提携して行いました。資金はかものはしとヨーロッパ系NGOが拠出し、かものはしとWP共同で実施しました。
- 08年度までは試行錯誤を繰り返しながらも、ファクトリーをひとつのロールモデルとして成立させることを目指していきます。日本からの資金援助なしに、カンボジア人が主体となって運営されるモデルです。その後、他の団体と協力しながら、カンボジアの必要な地域にファクトリーを増やしていきます。そうすることで、カンボジア全土で一人でも多くの子どもたちを守っていきます。

※ WP とは「Wathnakpheap」の略称で、農村で職業訓練を行っている、カンボジアの現地 NGO です。

役割分担図

	地	し	現	WP	P	ヨ	系	Q
資金		○						○
支援		○		△				
運営		△			○			

「家族を助けられて嬉しい」

——カイヤちゃんがファクトリーで働く理由は？

17才のカイヤちゃんは、かものほしプロジェクトのファクトリーで訓練を受け働いています。家族はお父さん、お母さんと弟妹と合わせて6人という構成です。

お父さんはこの家以外に、他の女性と暮らす家もあります。残念ながら、カンボジアの農村ではよくあることなのです。時々お父さんがお金を持ってきますが、それ以外の時は、この一家に収入は少ししかありません。そこで、カイヤちゃんがファクトリーで働き収入を得ているのです。

カイヤちゃんは言います。「家族を助けることができて嬉しいです。私が収入を得るための技術を学び、幼い妹が学校に行けるようがんばりたいです。日本の人たちに本当に感謝しています」。



家族のために働くカイヤ

——給与の使い道は？

カイヤちゃんに給与の使い道を聞いてみました。「もらったお金のほとんどはごはんを食べるために使います。あと、お正月に家族の洋服を新しく買いました」。カイヤちゃんはファクトリーの中でもおしゃれな子です。ファクトリーで知り合ったほかの女の子と自転車で1時間ぐらいかけて市場に行き洋服を買ったそうです。学校に通えなかったカイヤちゃんにとっては、こうして他の女の子と仲良くなれたこともファクトリーで働く楽しみの一つだそうです。



笑顔が絶えないファクトリー内の様子



天然素材をつかったハンディクラフト

——技術を学ぶだけでなく、

「生きる力」を女性たちは学んでいます

職業訓練と仕事を提供していく中で、ファクトリーで働く女性たち（ワーカー）は技術と現金収入以上のものを得て成長しています。

村の女性のほとんどは、自信がありません。自分が何かを達成できるという可能性を信じられないのです。自分が作った商品が売れる、字を書けるようになる、村のほかの女性たちと共同で作業する、ということを通じて、「生きる力」を学んでいます。少しずつ芽生えた自信から可能性が広がり、人間的な成長にもつながっています。



左：バンダ、右：大窪 生産された製品を運ぶスタッフ。スタッフの著しい成長もカンボジアに対するひとつの貢献

ファクトリーモデル確立への「交渉継続」と「独自運営」

08年度の方針

Our policy and objective for 2008

06-08年度は、事業を試行錯誤しモデルを構築する時期と決め、コミュニティファクトリー事業をスタートしました。06年後半から現地 NGO と提携し、チクライエン地区でファクトリーを実際に運営してきました。

当初は、お互い協力し合い、多くのことを学ぶプロジェクトでした。しかし、途中から現地 NGO WP との関係が悪化し、チクライエン地区のファクトリーは08年4月現在、休止しており、再開に向けて、WP と協議しています。同時に、ここで得た経験を活かして隣の地域にて、自分たち独自のファクトリーをスタートさせます。

MAP



チクライエン地区休止にいたった理由

現地 NGO WP との提携の経緯とかものはしの役割

農村での活動経験のない私たちは、それを得るため現地 NGO と提携しました。現地 NGO は戦略性と資金力が乏しく、そこを補う形での提携です。

現地 NGO は、運営資金を先進国からの寄付に依存しているため、村のためではなく、運営資金獲得のための活動になってしまいがちです。自己収益型のファクトリーモデルを導入することで、この問題を解決することが可能だと考えました。

原因と結果

農村での活動のノウハウを得ること。現地 NGO の体質を改善すること。この二つの目的を達成しながらファクトリーを運営することは、かものはしの組織・財務の実力から困難でした。どちらかに絞るべきであったと反省しています。特に、現地 NGO の体質改善には、多くの資金とともに、非常に根気強いコミュニケーションが必要でした。しかし、中期に WP のスタッフが入れ替わったため、コミュニケーションを十分にとることが出来なくなってしまい、その結果、休止に至りました。

1

チクライエン地区の方針

既存ファクトリーの運営の休止を打開するために

運営から手を引くということも選択肢に含め協議する。

運営から手を引く場合、働いている女性たちに対しては、製作した商品の買い取り、自立のための研修など支援策を検討する。

2

ソトニコム地区の方針

チクライエン地区の休止により、全体の動きが止まることを回避するために

07年度の経験を活かして、隣接するソトニコム地区での独自のファクトリーを立上げ運営をする。

初期

06年9月～

立上げ、職業訓練を実施

WP スタッフのこれまでの経験をもとに協力して活動を展開

かものはしは資金を提供し、一緒に働いて多くのことを学んだ

中期

07年7月～

製品の製作&販売が活動の中心に

WP スタッフが内紛により入れ替わり、ほとんどが新卒で経験が無い人たちに。むしろ、かものはしが教える立場に

WP の希望により、WP スタッフが運営の中心に

現在

07年12月～

WP ディレクターが病気のため辞任

交渉できず宙に浮いた状態のまま、ファクトリーは休止

新しくスタートするクチャファクトリー

ソトニコム地区クチャ集合村は世界遺産アンコールワットから1時間ほどのところにあります。かものはしが独自運営する、新しいファクトリーをこのクチャでスタートさせます。

「いぐさ」「水草」を使ったハンディクラフトを製作する職業訓練をします。

最初は16人で、その後順次規模を拡大する計画です。1人が自立に必要な、1日に1ドルを得られるよう支援します。



いぐさ製品をつくるためのミシン。
電気がないため、足踏み式です



水草の小物入れ。手でひとつひとつ編みます

訓練生紹介 ポーンちゃん

訓練生は、村と協力して、スタッフが各家庭を1軒1軒回り、貧しさと向上心の二つの視点から参加してもらうことになりました。その一人、18才のポーンちゃんをご紹介します。



彼女の家は農作地が広くないため、農業以外で生計をたてる必要があります。毎日食べるお米も買わなければなりません。仕事は、魚釣りや他の家の仕事を手伝うことです。一家は10人おり、両親と兄が頑張って働いていますが、毎月ぎりぎりの家計状況です。家はぼろぼろで今にも倒れそうですが、建てかえるお金はありません。彼女がコミュニティーファクトリーで働くこ



ポーンちゃんの住まい

訓練生データ

訓練生数	16人
平均収入	月41ドル
平均支出	月50ドル
希望する平均収入	月65ドル
土地をほとんど持っていない家族	10家族
借金	55ドル

(訓練生の親に対する聞き取り調査。親も覚えていないことがあるのであくまで参考数値です。)

また一歩進むために

チクライエン地区でのプロジェクトを通じて農村での活動経験を得られたことは、かものはしにとってとても大きなことです。このプロジェクトを進めていく中で、私たちかものはしスタッフも、働いている女の子たちと一緒に生産を改善するために話し合ったり、食事をとったり踊ったりと親交を深めてきました。そんな彼女たちと人間的な付き合いをしてきたからこそ、このファクトリーを閉じるかもしれないということは考えたくもないことです。

チクライエン地区のファクトリーを休止したあと、彼女たちの家に訪問し謝ると、「早く再開してほしい」と言う言葉とともに、「よい経験ができた。友達がたくさんできたし、多くのことを学べた。ありがとう」という言葉をもらいました。それだけに現地NGOとの関係悪化のため休止している状態を本当に申し訳なく思い、葛藤する日々です。

しかし、児童買春問題を解決するためにここで踏みとどまってはいけない、一歩また進まなければいけないと

考えています。自分たちがカンボジアの人たちのために、特に児童買春や人身売買の対象になる女性たちを守るために、何ができるのか日々考え、前進していきます。



ファクトリーのワーカーたちと記念撮影

児童買春・人身売買問題とは

What are CSEC and Human Trafficking problems in Cambodia?

かものはしプロジェクトが取り組んでいる児童買春・人身売買問題とは何か。この問題は、闇に隠れており、なかなか正確な状態をつかむことはできません。今回は、かものはしが把握している、問題の要因と最新状況をご紹介します。

児童買春・人身売買の要因

売り手（少女）

- 農村は貧しく、現金収入が少ない。その上、高い医療費などのため、支出がかさむ。
- 農村から都市に出稼ぎに行く途中に被害にあうケースが多い。
- 教育を受けていない。
- 婚前交渉は女性は禁じられており、一度、売春宿で性交渉を経験した女性は、差別をうける。

買い手

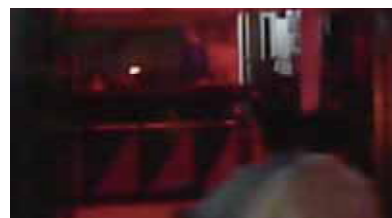
- カンボジア人が主要な買い手。1～5ドル程度の価格で買われている。
- 華僑の一部は「処女信仰」ゆえに、幼女を買うことがある。
- 幼女を対象に性的欲望をもつ「ペドファイル」（主に欧米人）。
- 日本人、欧米人などが旅行の際に買うこともあり、多額のお金を落とす。

環境・政府

- 憲法や法律上、組織売春、子どもの売春、人身売買は規制されている。
- 警察・政府高官が腐敗しており、法律の執行力が弱い。それどころか、売春宿を経営していることもある。
- 司法も腐敗しており、明らかに有罪な人が賄賂により無罪釈放されることが多い。

07 年度に行った調査

文献調査・関係 NGO/ 国際機関へのインタビュー、買春宿視察調査を実施。最新の被害状況、問題構造に関して以下のような事実がわかってきました。



プノンペンの売春宿（車中から撮影）

- 1) 7-12 歳の女の子が 30-100 ドルで売られていることを実際に確認。ただし、この年齢層に対する取り締まりは強化されており少数になってきた
- 2) 18 歳以上でも売春宿に無理やり売られ暴行を受けている、というケースが多い。リストカットを繰り返したり、危険な中絶をして死亡する女性も多い
- 3) カンボジア経済の成長にともない、富裕層と貧困層（農民）の経済格差が広がりつつある。農村から都市へ出稼ぎに行く農民が増え、その結果、出稼ぎの途中で

- 詐欺にあい、被害にあうケースが増えている
- 4) いわゆる“売春宿”ではなく、カラオケやレストラン、バーなどでの売春斡旋が増えており、問題が見えづらくなっている
- 5) 必ずしも貧しくないがお金ほしさに、身体を売るという女性もわずかであるが存在（ただし、その経緯は、暴行を受けたゆえに仕方がなく、というケースも多い）
- 6) 新法が制定されるなどカンボジア政府として取り締まり強化をしているが、一部にとどまっている

2008 年度実施事項

2008 年度も継続して、状況の調査、ネットワーク活動を行います。法執行強化関連の活動を行う団体に対して、資金を提供し、法執行強化の流れを強めることに努力していきます。



人身売買に関するネットワークを多く有する NGO とのミーティング後。多くの団体と情報交換をしたが、現状を正確につかんでいる団体は少なかった。



首都プノンペンのレストラン。男性が飲食をしながら、女性を選ぶ。



IT 事業とは

IT 事業の主な目的はかものはし全体の資金調達です。日本企業の Web サイト制作の一部（HTML コーディング）を受注して売上を出し、資金調達に貢献しています。

カンボジアへの発注

商品画像の切り抜きをカンボジアに一部発注しました。

オンラインショップの商品追加の作業を一部受託しています。



カンボジア人スタッフが写真を切り抜いた商品画像

資金基盤として確実な成長

07 年度は 5600 万円の売上を達成することができました。

06 年度に比べ売上 40%増と、引き続き成長することができました。様々なお客様から継続してご支持いただき、07 年度だけで 180 のサイトを手がけることができました。

それも、改善を続けてきたことで HTML コーディングにおいて業界トップクラスの実力をつけてきたことと、新たに 3 名のスタッフが参加したことによるものです。

IT 事業売り上げ推移



07 年度手がけた主な Web サイト

大手 M 銀行個人向けサイトリニューアル 500 ページ

大手資産運用会社 N 社サイト運用 700 ページ

携帯キャリア S 社 700 ページ サイト保守、コーディング研修

自分の成長と事業の成功が仕事の原動力

日本の IT 事業部で、Web サイト構築の仕事をしています。かものはしを知ったきっかけは、アルバイト求人情報サイトを見て。数ある IT 系求人広告の中で異彩を放っていた”カンボジアの子どもたちに笑顔を”のフレーズにぐぐっときて、すぐさま連絡をし、10 日後には働き始めていました。まず、驚いたのはミーティングの多さ。各々が意見を出し合い、考え、かものはしプロジェクトとして歩んでゆく道筋を決める…。日々の仕事をただこなすだけでなく、その先にある”ミッション達成”というゴールを時折、皆で共有することで自分がやっている仕事の意味を再確認できます。自分の成長、かものはしの成長、延いてはカンボジアの子どもたちの成長を考えることが日々の仕事の原動力となっています。



IT 事業部 齊藤 亜樹

PC スクール

2006 年 11 月より始めた PC スクールは 2007 年 5 月に無事修了しました。孤児院など 13 団体に所属する 120 人の子どもたちが PC を学びました。内容は、パソコンの使い方、ワード・エクセルの使い方が中心です。

かものはしプロジェクト全体としては、コミュニティーファクトリー事業に力を入れるため、カンボジアの PC 関連事業の次計画は未定です。PC スクールを再度実施する、かものはしカンボジアから情報発信し、コミュニティーファクトリーの商品販売を主体にする、日本からの IT の仕事を受注するなどの案があります。

🎄クリスマスパーティー 2007🎄



10代から60代の方までいろいろな世代が100人参加！参加費の一部でカンボジアにプレゼントする企画では「絵本の図書館」に決定しました！そして恒例のクリスマスソングの大合唱で熱気と笑顔につつまれました！



📖カンボジア訪問📖



クリスマスパーティーの参加者が選んだプレゼント「絵本」を現地に届けてもらいました！ファクトリーのワーカーにとっても忘れられない思い出となっています！

🎵サンド会🎵



毎月第3土曜日はかものはしDAY！様々なイベントを企画し、サポーター同士の交流も生まれています。“ゆるかも”が企画・運営しています！

📅二木会📅



毎月第二木曜日に開催される社会人向けの活動説明会「二木会」。サポーターの方に知人をご紹介いただきこれまでに200人超が参加！

🎵チャリティーイベント🎵



サポーターの企画によりチャリティーコンサートやチャリティーイベントが実現！多くの方に活動をアピールできました！

サポーター事業とは

月々1000円でご支援いただくサポーター制度。楽しく学びのあるイベントや、日本にいながら現地に貢献できるキャンペーン、スタディツアー。様々な試みで活動資金の調達だけでなく、「笑顔が広がる世界」を実現していきます。

312人会員が増えました！！

07年度は312人増え、会員総数が650人を超えました！北海道から沖縄、アメリカ、タイに至るまで共感の輪が広がっています！サポーターの方が増えるにつれ、現地でより安定して活動できるようになっています。

2008年3月末現在 正会員：96人 サポーター 557人

サポーターの声紹介



23歳社会人 浅見清夏さん

忙しい日常の刺激になっています

今年から社会人になった私は仕事に忙殺される日々です。社会のことや自分の仕事の向かう先などを忘れてしまうことに恐怖感を覚えました。かものはしから届く活動報告やスタッフとイベントなどで話す機会は、今の私にとってとても価値があり、いつも刺激になっています。

🍌 総会 2007 🍌



“日本一盛り上がる NPO 総会”に約 100 名が参加！
活動報告の場だけでなく、参加型のプログラム
で楽しく学びのあるイベントとなりました！

🍌 ヘアプロジェクト 🍌



カンボジアの子どもたちにハッピーを配達！プロのヘアメイクさんとカメラマンさんとかものはしのコラボレーション企画。孤児院の子どもたちやファクトリーのワーカーたちがヘアメイクをしてもらいワクワクドキドキの大変身！変身後のステキな写真をプレゼントしました。



41 歳社会人 部健二さん

家族も楽しんで社会貢献

家族も含めて楽しめるようなイベントや企画は、お仕着せの“寄付”の色が薄く、自分自身も楽しく参加でき、社会貢献につながるといった素敵な活動の一つだと考えております。これからも、気負わず(?)、家族ともども、楽しみながら活動に参加させていただきますので、素敵な企画!!、よろしくお願いします。

🍌 講演会の地方開催 🍌



地方にお住まいのサポーターに企画していただき、共同代表村田の講演会 & ラジオ出演が実現！

🍌 スタディツアー報告会 🍌



ツアー参加者により企画された報告会。映像を交えてツアー報告したり参加者の思いの丈を語ったり、カンボジア舞蹈があったりと、カンボジアをより身近に感じられるような場となりました！まだ見ぬカンボジアに思いを馳せるサポーターの姿も。

🍌 NGO の祭典「グローバルフェスタ 2007」 🍌



“ゆるかも” やスタディツアー参加者を中心にカンボジアの揚げパン「ノムパンチェン」やコミュニティーファクトリーのいぐさ製品を販売しました！

活動を支えて下さっているみなさまへ



会員事業を担当している、岩下です。みなさまにお伝えしたいのはまず、感謝の気持ちです。活動を支えてくださり本当にありがとうございます！スタッフの生活や健康を気遣う言葉を頂くなど、温かい気持ちに触れられ、本当に励まされる日々です。

かものはしプロジェクトは、スタッフもサポーターもいっしょにカンボジアを支援する仲間であると考えています。そして、カンボジアも日本もともに成長していける関係を築いていきたいと考えています。イベントに参加！WEBをチェック！パンフレットを友人に配布！ブログにかものはしバナーを！など参加の手段はたくさんあります。もちろん提案や持ち込み企画も大歓迎です。ぜひ積極的に活動に参加して、ともに共感の輪を広げていきましょう！

ゆるかも活動中！

「自分たちもハッピーで世界にピースなことを！」をコンセプトに活動する、かものはしの姉妹団体。多くの方に楽しんで国際協力をしてもらいたい、そんな理念でゆるかもは運営されています。毎月第三土曜日に行われる「サント会」を中心に活動しています。

メンバー募集中です！

連絡先

yurukamo@kamonohashi-project.net



Seeing, Learning, and Communicating.
Your smile connects to their smile beyond the boarder.



スタディーツアーとは？

様々な問題解決に取り組む NGO や孤児院、農村を訪問します。 NGO スタッフや、たくましく生きる子ども達との交流を通じて、新聞やテレビでは得られない「リアルなカンボジア」を体験するツアーです。春夏計 4 回実施しています。

スタジアムアルバム



農村の小学生と相撲で交流。和やかながらも勝負は真剣そのもの！



ファクトリーのワーカーとの交流。ツアー各回毎に、オリジナルの企画を考えます。笑顔に国境はありません！



駐在員を交えてのワークショップ。ツアー中に感じたことをしっかりと整理したり、意見を交わしたりと心も頭もフル回転！



首都プノンペン中のゴミが集められるゴミ山ステメンチャイ。裸足でゴミを拾う子どもたちの姿に、衝撃を受ける参加者も少なくありません。



荘厳な姿でたたずむ世界遺産アンコールワット。繊細なレリーフはクメール文化の技術の高さを証明しています。

スタディーツアー参加者の声

カンボジアが身近な存在に

カンボジアの治安に関してはとても心配していましたが、実際に訪れてみるとそれらカンボジアのイメージは自分の身近な限られた情報源からつくられており、偏っていたということに気がつきました。今まで遠くに感じていたカンボジアが身近な存在になりました。(大学生 女性)

内面的な成長を実感

NGO や博物館の訪問以外にも、夜にスタッフの方と飲みながら、気軽にお話しながら得られるものがとても大きかったです。知識だけではなく、内面的な成長が感じられたツアーでした。(大学生 男性)

「あの子は今日も元気に暮らしているかな」

ファクトリーでつくられたいぐさのバックを手にしなが、「これを作った子は今日も元気に暮らしてるかな」と考えると嬉しくなります。こうした気持ちをたくさんの人々に伝えていって、少しでも遠い日本からカンボジアの方々へ支援できればと思っています。(社会人 女性)



WEBをチェック！

スタディーツアーのお知らせも、各種イベント情報も WEB でお知らせしています！活動の成果やファクトリーのワーカーたちの人間的な成長といったドラマをリアルタイムにわかりやすく報告しています。ぜひ WEB をチェックしてください！

<http://www.kamonohashi-project.net/>

(「かものはし」で検索！)



協賛企業・団体一覧



帝國製薬株式会社



株式会社セントラル総合研究所

株式会社さくら事務所

株式会社アイスリーデザイン
株式会社アイ・パッション
株式会社アイブイピー
明石南ロータリークラブ
アサヒワンビールクラブ
アジアンヒールジャム
American Life, Inc.
株式会社アークウェブ
English Robin, Inc.
E Qパートナーズ株式会社
株式会社 HR インスティテュート
NEC
エムユーシー株式会社
社団法人岡山青年会議所 岡山ブロック建設クラブ
柏木建設株式会社
COLOR RHYTHM
神田お玉ヶ池法律事務所
草の会
グローバル・ブリッジ・インク
株式会社サキコーポレーション
株式会社サムライ・インキュベート
渋谷ロータリークラブ
島本パートナーズ
株式会社シンクキューブ
株式会社ジャクパ
株式会社上毛
住友生命保険相互会社
清泉女子大学 ボランティアセンター
成蹊大学 DANCE TEAM JAM[z]
成蹊大学 国際協力サークル M.I.X
企業・団体様のみ掲載しております。

株式会社せおん
株式会社損害保険ジャパン
ソーシャル・アライアンス株式会社
中小企業支援センター
有限会社テニスピアージュエ
東京中小企業家同友会女性部有志
豊島区倫理法人会
株式会社ニューテクノロジー
社会福祉法人にんじんの会
株式会社ノイロン
株式会社ノヴィータ
株式会社ハイバーテック
浜野工業有限会社
広尾ロータリークラブ
株式会社ビーアイ・ネットワーク
フェリス女学院大学奨学会
プラス・カスミッシモ
富士ゼロックス株式会社
富士ゼロックス株式会社端数クラブ
株式会社マイテック
株式会社マインドトップ
真夏に第九を歌う会
三井住友海上火災保険株式会社
三井住友海上火災保険株式会社 スマイルハートクラブ
椰子の芽会
Yahoo! ボランティア
株式会社リクルート
Rainbow Kitchen
ロングブラックパートナーズ株式会社

敬称略・五十音順

07 年度決算 Account settlements 2007

損益計算書

(単位:千円)

科目	07 決算	07 予算	達成率
I 経常収入の部			
1 IT 事業	56,018	68,640	82%
2 サポーター事業	23,897	14,000	171%
3 スタディーツアー事業	1,181	3,000	39%
4 コミュニティファクトリー事業	543	1,000	54%
5 その他	369	0	-
経常収入合計	82,008	86,640	95%
II 経常支出の部			
1 IT 事業	34,476	38,774	89%
2 サポーター事業	6,940	6,304	110%
3 スタディーツアー事業	1,284	2,080	62%
4 日本事務局	12,206	11,273	108%
5 カンボジア事務局	10,367	11,724	88%
6 コミュニティファクトリー事業	5,475	6,575	83%
7 PC スクール事業	313	1,837	17%
8 その他	721	0	-
経常支出合計	71,782	78,567	91%
経常収支差額	10,226	8,073	127%
III その他資金収入の部			
その他の事業会計繰入金収入	0	0	-
IV その他の資金支出の部			
法人税など	132	789	
	132	789	17%
当期収支差額	10,094	9,491	106%
前期繰越収支差額	14,201		
次期繰越収支差額	24,295		

貸借対照表

(単位:千円)

科目	金額	科目	金額
I 資産の部		II 負債の部	
1 流動資産		流動負債	
現金	1,831	短期借入金	0
預金	20,156	未払金	8,389
売掛金	11,883	未払法人税等	125
その他	505	預かり金	1,792
流動資産合計	34,375	流動負債合計	10,306
2 固定資産		III 正味財産の部	
車両運搬具	227	資本金	500
建物	0	前期繰越正味財産	13,701
土地	0	当期正味財産増加額	10,094
固定資産合計	227	正味財産合計	24,295
資産合計	34,602	負債および正味財産合計	34,601

収支計算書、貸借対照表、財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、NPO 法人かものはしプロジェクトの収支状況及び財政状態を正しく示していると認める。

2008 年 5 月 7 日 監事 平野雅幸

2008 年 5 月 7 日

NPO 法人 かものはしプロジェクト

監事 平 野 雅 幸



08 年度予算

Fiscal budget for 2008

(単位:千円)

科目	08 予算	07 決算	増減率
I 経常収入の部			
1 IT 事業	61,000	56,018	109%
2 サポーター事業	25,215	23,897	106%
3 スタディーツアー事業	450	1,181	38%
4 コミュニティーファクトリー事業	2,171	543	400%
5 その他	0	369	-
当期収入合計 (A)	88,836	82,008	108%
前期繰越金 (B)	24,295		
収入合計 (C=A+B)	113,131		
II 経常支出の部			
1 IT 事業	35,395	34,476	103%
2 サポーター事業	7,972	6,940	115%
3 スタディーツアー事業	450	1,284	35%
4 日本事務局	16,805	12,206	138%
5 カンボジア事務局	11,101	10,367	107%
6 コミュニティーファクトリー事業	10,287	5,475	188%
7 PC スクール事業	0	313	0%
8 その他	0	721	-
当期支出合計 (D)	82,010	71,782	114%
当期収支 (A-D)	6,826	10,226	67%
最終 (C-D)	31,121		

財務に関する分析

Financial Analysis

全体

07 年度全体収入規模は、06 年度比 140%を達成しました。

07 年度予算に 400 万円ほど達しなかったものの、年度全体で事業運営するためには十分な財務状況でした。

カンボジア

コミュニティーファクトリー事業 (CF 事業) は 54 万円売上しました。

07 年度予算 54%の達成でしたが、06 年度に比べて確実に成長しました。

08 年度 CF 事業の売上目標は、上位目標として 500 万円を掲げています。

CF 事業拡大に向けてカンボジア・日本での販売を行っていきます。

収入

サポーター事業は予算 170%を達成しました。

IT 事業ともに収入の柱になり、資金調達が安定してきました。

法人税

最終利益に対し、税金額が非常に小さくなりました。これは、課税対象となる IT 事業等と、非課税対象となるサポーター事業等の収入・利益のバランスが理由です。

事務局費用はこれらの事業の間で、収入比率に応じて按分するため、収入額が相対的に大きい IT 事業がより多くの事務局費用をまかなっています。

そのため、税引前当期純利益は 222,110 円となりました。

※ 1,000 円未満は四捨五入しているため、数字の合計が一致しません。

アドバイザーコメント

かものはしプロジェクトでは、各分野で活躍する方に運営方針の軌道修正や事業の向上のために、アドバイスしていただいています。07年度の活動の評価と課題に関して、各アドバイザーからコメントをいただきました。

(※敬称略、五十音順)

組織ビジョンと使命から評価せよ

07年度は、カンボジアでの事業運営において、学びと収穫の多かった1年だったと思います。これからは、今の事業や活動を、組織ビジョンと使命から評価してみるという視点も大切になると思います。ビジョンや使命を達成するにはいろいろな選択肢があると思いますが、環境の変化に柔軟に対応できるよう、ネットワークを広げていきましょう。NGOが陥りやすい「木を見て森を見ず」の罫壺にはまらないように気をつけて（自戒を込めて）！



石関正浩
国際 NGO 元カンボジア駐在員

ゴールに向けて、もう一步の脱皮が必要

必死に知恵と力を振り絞って、児童買春問題への「解決策」の提案力と実行力を示し続けることが必要になってきます。いいスタートをいいゴールへ導くための、もう一步の脱皮が必要です。そのためにとても重要なこれからの数年間になると思います。引き続き、「オンリーワン感」のあるかものはしとして、世の中に「期待感」を広げられる組織として頑張ってくださいと思います。



鵜尾雅隆
「ファンドレイジング道場」主宰

IT 事業は競争力強化が課題

かものはしプロジェクトを資金面で支える IT 事業は、産業の中でも激戦区でたたかっています。IT 業界は、変化も大きく速くそして製造業等に比べて基盤は脆弱です。

IT 事業を市場で有利に展開していくためには、強みの強化が不可欠と考えます。

多忙の日々の中で時間を捻出し、最初はどのように小さなものでもよいので、競争力強化の施策を進めて下さい。



岡崎邦明
有限会社アルゴソフト代表取締役

新しい「代表的日本人」の奮闘を応援したい

児童買春問題の解決という崇高な使命を「持続的に」果たしていくために、敢えて IT 関連の営利活動を併せ行うという、新しい NPO の形態に挑戦している。スピードが速く、グローバル競争にさらされる IT 事業は、必然的に合理化・効率化を求める資本主義の洗礼を浴びやすい。その中で、どうやって、かものはしの本来の使命との両立を図っていくのか。新しい「代表的日本人」たる彼らの奮闘を今後とも応援していきたい。



小城武彦
東証一部上場会社 代表取締役社長

持続性のある組織作りは社会的使命

2007 年のかものはしは、組織としてのサステナビリティ（継続可能性）を獲得するための第一歩を踏み出しました。持続性のある組織にするには、異常な頑張りや偶然の幸運、職員の犠牲などがなくても、順調に成果を出せなくてははいけません。そうした体制をつくることは、目標や希望ではなく、自分たちの社会的使命であると考えて下さい。そうすれば、応援してくれる方々も更に増えるでしょう。



越純一郎
株式会社せおん代表取締役

時に楯を入れ適正な業務運営へ

ミーティングでは、若く、志高いメンバーから、やる気・活気溢れる企画や報告が次々となされていきます。時には弱気のこともあります。私たち、人生経験の若干上回るアドバイザーの面々は、その勢いや純粋さを極力削がないように、一方でより確実性を担保する観点でサジェスションを行ったり、ある時は“楯”をいれたりしています。この絶妙なバランス関係が、「かものはし」の適正な業務運営に資しているものと確信しています。



島田洋之
金融系 IT 関連会社 社員

常に変化し進化し続けた 07 年度

07 年度、迷い悩んだ上でのコミュニティーファクトリーの設立の決断はすばらしかった。今までの仮説を疑い、リスクも考えた上で、現地での苦労やトラブルもありながら、常に変化し進化しつづけているのは、経営陣やメンバーの志であり、成長がもたらすもの。

これからは、成果を出し、そしてミッションだけでなく様々な方面へ影響力をもたらしことを期待しています！



鈴木敦子
NPO 法人 ETIC 事務局長

08 年度はミッション達成へのより高い意識を

組織運営が安定してきたことは評価できる。理事会の役割が明確になり、分業体制も整備された。一方で、ミッションの追及面で課題は残る。事業基盤である IT 事業は、安定感を持ち始めた一方で、カンボジアの買春問題解決からは距離がで、CF 事業の展開スピードも速いとは言えない。カンボジア経済の環境変化も速度を増す中、ミッションに対する意識が一層求められる次年度となる。



高橋義孝
経営コンサルタント

代表挨拶

一人でも多くの子どもたちが未来を選ぶように

昨年度は、当団体をご支援下さいまして、誠にありがとうございました。厚く御礼申し上げます。皆様のご支援のおかげで、様々な困難にあいながらも、事業を少しずつ前進させることが出来ました。活動を広げていく中で、本当にたくさんの素敵なお会いし、支えられていると実感しています。コミュニティーファクトリーの事業が前に進めば、確実に助けることが出来る子ども達が増えていきます。一人でも多くの子どもたちが未来を選ぶように、本年度も皆様のお力をお貸し下さい。



共同代表 村田早耶香

08 年度は何がなんでも前進

06 年度ー 08 年度をコミュニティーファクトリーモデルを構築する第二フェイズと位置づけています。その観点から考えると、チクライエン地区のファクトリーの休止という、悔しい思いをし、出遅れています。ご支援して下さいの皆さまのご期待に添えず、申し訳ありません。反省すべき点は反省し、気持ちを切り替えるべき点は切り替えて前にすすもうと思います。第二フェイズの最終年度である今年は、何がなんでも目標を達成します。



共同代表 本木恵介

組織基盤が安定した日本事業

07 年度の日本事業は収益が安定し、組織基盤が整った年であると言えます。IT 事業、サポーター事業ともに、昨年度に引き続き成長し、プロジェクト全体の資金を安定的に調達できるようになりました。IT 事業においてはより多くのお客様に喜んでいただけるようになり、サポーター事業においては、共感の輪が広がりより多くの皆様のご支援を受けることができました。現地の事業を進めていくためにも、より効果的な資金調達を目指して引き続き 08 年度も頑張ります。今後とも是非よろしくお願いいたします。



共同代表 青木健太



この報告書は以下の企業の協賛金により印刷をしております

N E C 神田お玉ヶ池法律事務所 株式会社せおん

団体概要

団体名	特定非営利活動法人かものはしプロジェクト
設立日	2002 年 7 月 18 日設立 2004 年 9 月 22 日 NPO 法人格取得
事業内容	カンボジアにおける職業訓練センター事業 カンボジアと日本における IT 事業
役員	共同代表 村田早耶香 共同代表 本木恵介 共同代表 青木健太 監事 平野雅幸
常勤スタッフ数	25 名（カンボジア：10 名、日本：15 名）
銀行口座	三菱東京 UFJ 銀行 渋谷中央支店 普通預金 6976678 特定非営利活動法人かものはしプロジェクト代表理事村田早耶香 〔トクヒ）カモノハシプロジェクト〕
郵便振替口座	口座番号 00130-8-334289 特定非営利活動法人かものはしプロジェクト
連絡先	TEL 03-5454-3082 FAX 03-5454-3092 MAIL info@kamonohashi-project.net URL http://www.kamonohashi-project.net/
日本事務所の所在地	〒150-0045 東京都渋谷区神泉町 21-1 永田ビル 2 階 京王井の頭線 神泉駅徒歩 3 分

※表紙の写真：かものはしプロジェクトのスタディーツアーで、
日本の「JHP・学校をつくる会」が支援する孤児院を訪れた際の写真です